神奈川病院だより

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。

年頭所感

独立行政法人国立病院機構神奈川病院　院長　加勢田　静

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災から間もなく2年を迎えようとしております。

昨年の暮れには2年前を思い起こさせるような大きな地震が発生し、改めて被災者・避難者の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

神奈川病院は医師及び看護師不足の中、職員の努力と地域住民の皆様の温かいご支援・ご協力により経営状況も僅かずつではありますが右肩上がりに改善され、昨年やっと老朽化した重症心身障がい児・者病棟の建て替え工事をスタートすることが出来ました。

新たな病棟は、プライバシーや感染対策を考慮した設計としており、家族の方々が宿泊できる部屋も設けております。病棟の建て替え工事中は、当院を利用される皆様や近隣住民の皆様方には出来る限りご迷惑をお掛けしないよう配慮してまいります。

国立病院機構は、平成26年4月に新たな法人に移行する動きが出ており、また、本年は第二期中期計画の最終年にあたり、その成果が問われる年でもあります。神奈川病院の将来にとっても今年１年は色々な面で節目の年になるのではないかと思われます。

当院は病棟や外来治療棟も老朽化してきており、引き続き一般病棟及び外来治療棟の建て替え工事が必要となります。そのためには、更なる経営改善と、職員及び地域の皆様方のご協力は必要不可欠ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

なお、神奈川病院は地域医療支援病院としても、地域の医療機関の皆様と大型医療機器の共同利用や症例検討会の開催、或いは公開講座の開催等をとおして、病診・病病連携を強化し、中核医療機関として秦野市をはじめ、その周辺地域の医療にも貢献できるよう職員一丸となって努力してまいります。

神奈川病院の建て替えが今後も引き続き進みますことを夢見つつ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

第39号　目次

●年頭所感 ……1
●東京医療保健大学東が丘看護学部の実習受入を行い感じたこと ……2
●秦野市民の日 ……3
●県立秦野高校管弦合奏部のコンサートを開催して ……3
●大腸がんについて　～原因と予防～ ……4
●「神奈川病院院内教育研究学会」開催される ……4
●自衛消防総合訓練 ……5
●感染性胃腸炎を予防しましょう！ ……6
●栄養ひとくちメモ ……7
●地域医療連携機関紹介 ……7
●各科診療担当医表……8

平成25年1月発行
神奈川病院 広報誌

独立行政法人　国立病院機構
神奈川病院
〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1
電話：0463−81−1771
FAX：0463−82−7533

東京医療保健大学東が丘看護学部の実習受入を行い感じたこと

実習担当看護師長　小杉　葉子

東京医療保健大学東が丘看護学部は平成21年4月に、国立病院機構東京医療センターの敷地内に開学した大学です。実習は東京医療センターを中心に行われますが、他の国立病院機構施設でも実施されています。今回、東が丘看護学部3年生15名の学生が障害者看護実習を選択し、当院の重症心身障がい児(者)病棟2ヵ所で2週間の実習を行いました。

同大学の実習受入れは初めてでしたので、重症心身障がい児(者)病棟の看護師長・実習指導者と共に実習指導計画の作成を行いました。実習目標を達成するために、指導者として日々どのような関わりをすることが必要か等、実習環境を整えることを優先に行いました。学生は障害者看護に興味を持ち、学習意欲はあると思われました。しかし、重症心身障がい児(者)に接するのは初めてで、戸惑いを感じることが推察されました。指導者として学生に学ばせたいことは、①日常生活援助や療育的関わりを通して対象の身体的特徴や実年齢と発達年齢に差があること、②人格を持った一人の人として尊厳を認め、小さな変化を早期に発見するために日頃の観察が欠かせないこと、③観察が看護の基本であること、④患者の反応を感じとりその時の喜びを感じさせたいと思い、日々の実習指導を行いました。

実習を開始すると、最初は緊張感で一杯だった学生の表情も、実習を重ねるにしたがって自然な笑顔となり、受持ち患者さんの好みや、表現の仕方などの特徴を捉え、積極的に接している姿を目にすることができるようになりました。

それぞれのグループの学生が実習2週目には、レクリエーションで楽器の演奏やダンスを披露してくれるようになり、患者さんに元気をプレゼントしてくれました。

実習終了後の学生のレポートの一部を紹介します。「○氏を一人の対象として見つめていくことにより、短い時間ではあるが、その表情から表出されるものが、ただ端的な１つの感情として存在するものではなく、それぞれの性格や記憶が影響していることを感じとることができた。」、「全ての行動に意味があり、それは何らかの感情表出表現であるということを理解することができた。」、「日常生活のケアの工夫や、観察の大切さなどから、看護の基本を学んだ。」

2週間の実習を受け入れ、個々の学生が大きく成長する姿を見ることができた喜びと、実習を受け入れる施設として、一貫性のある実習指導と継続性のある実習指導の必要性を改めて考える機会となりました。これからも実習指導者と連携をとり、優秀な後輩の育成に努めていきたいと考えています。

秦野市民の日

管理課職員係長　高久　大輔

毎年11月に秦野市民のためのイベント「市民の日」が秦野運動公園周辺で開催されます。当日は、大変寒く本当に人が集まるのか不安でしたが、運動公園周辺では市内の各病院・一般企業、落花生などの特産品のブース、消防署や警察署では白バイや消防車に乗れたりと、たくさんの人手で賑わい活気に満ちあふれていました。

神奈川病院のブースでは職員24名が参加し血糖測定、血圧測定、握力測定、肺活量測定、お薬相談、栄養相談、肩こり相談、医療相談を行い、各職員が連携を取りながら来場された方々の応対に当たりました。

血圧や血糖などを測り測定値が気になる方は相談窓口で不安を解消されているように感じました。また、以前に入院されていた患者様や現在通院されている患者様も神奈川病院のブースに立ち寄っていただき、各相談窓口で質問をされていました。毎年盛況の肺活量測定は終日大賑わいで、時間帯によっては長蛇の列を成していました。今回「市民の日」を通して一般の方々と病院の関係がより一層深まったと感じております。また、各ブースの方たちとも交流ができました。同じ病院関係者や、警察署、秦野市の名産品店の方たちなど職種を越え関われたことをうれしく思います。

県立秦野高校管弦合奏部のコンサートを開催して

ボランティア委員　谷嶋　寿々子

神奈川病院で恒例となりました、県立秦野高校管弦合奏部のコンサート。

今回のテーマは、「音楽で　こころ豊かに　暖かく」顧問の吉良先生ひきいる高校生23名の皆様による演奏会。従来、クリスマスコンサートを開催する予定としておりましたが学校行事との調整がつきませんでした。療育指導室の協力によりコンサート会場となる外来待合室は、秋の紅葉を思わせるようなムードに様変わり。

普段、楽器での生演奏に接する機会がない患者さんが多く、高校生の方々が奏でる音の迫力に目を見張っておられました。演奏曲は、童謡メドレーやなじみの曲などです。会場の前列は、車椅子の方を優先席とさせて頂いておりますが、「孫が演奏しているみたい」と微笑ましく涙したり、昔を懐かしみながら涙したりと歌詞カードを見ながら一緒に歌い楽しい時を過ごすことができました。

患者さんによっては、「退院してしまうのでコンサートが観れないよ」と悔やまれる方もいました。

ミニコンサートではありますが、秦野高校管弦合奏部の皆さんは、当院だけでなく様々な所で演奏活動を行い活躍されております。神奈川病院でのコンサートの開催にあたり、「入院されている患者さんの方々に、少しでもこの演奏会を通じて和んで頂き、一日でも早く回復されますように」という想いで、ボランティアコンサートに参加して頂いております。

この様に神奈川病院では、外来患者さんや入院患者さんの方々が気持ちよく診療を受けられ、安心して入院生活を送られるように、暖かい気持ちで活躍して頂ける方々にボランティアに参加して頂いております。これからも多くの方々から参加して頂けるようお待ちしております。

大腸がんについて ～原因と予防～

外科　前田　裕次

＊大腸がんとは？

日本においてがんは昔から死亡原因の1位であり、その中で大腸がんは「21世紀病」と呼ばれるものの一つとされるなど、近年も増加の一途をたどり続けている病気です。

がんで死亡した人の部位別順位をみてみると、2009年の段階で全体では肺がん、胃がんに次ぐ3位になっており、女性だけでみると、胃がんを抜いて１位です。さらに、罹患率では1位が胃がんで、大腸がんは2位にあたり、年間で10万人に近い数の人たちが大腸がんと診断され、5年後には罹患者数が20万人を超えるのではないかと予測されています。

そもそもがんとは、体の細胞にできた腫瘍が無制限に周りの細胞を破壊しながら増殖し、様々な場所に転移を繰り返す悪性腫瘍の一つで、大腸がんはこの悪性腫瘍が大腸に出来た場合の事をいいます。ただ悪性腫瘍といっても様々な特徴を持ったものがあり、＜分化度＞という概念で悪性度を分類する事ができます。ちょっと専門的ですが細胞分化度が高いものほど臓器の構造･機能的性質を残していて比較的悪性度が低いということができ、高分化がんはがんの中でも比較的性質が良く、反対に低分化がんは細胞の原型がほとんどなく非常に進行が早く性質が悪いといえます。大腸がんでは＜高分化がん＞の割合が多く、早期発見ができれば十分完治の見込めるがんといえます。

＊大腸癌の原因と予防

大腸がんと食事は極めて密接な関係にあり、食物が大腸に与える影響がこれまでの研究によって明らかにされています。大腸に関しては、野菜や果物といった植物は、ほぼ確実に大腸がんのリスクを低下させる因子であるのに対し、肉類、アルコール、または卵や砂糖類はリスクを上げることがわかってきました。つまり野菜中心の食生活の人は大腸がんになりにくく、肉類やアルコール摂取量の多い人は大腸がんになりやすいということです。

また大腸がんは、運動不足･肥満にも関係しているといわれ、肥満に関していえば、大腸がんのみならず子宮がんや乳がん、肝臓がんに対しても危険因子であるといわれています。その原因はまだはっきりしていませんが、カロリーの摂取と消費のバランスが原因の一つと考えられています。ですから、外見上そこまで太っていなくても体脂肪率が高い『隠れ肥満』の方も大腸がんの注意が必要です。また運動ですが、これは確実に大腸がんのリスクを下げる事のできるものであり、適度な運動をしている人とそうでない人の差はかなり大きいといわれています。

ここまで大腸がんのいくつかの原因をあげてきましたが、以上のことから私達ができる最も身近でかつ効果的な予防方法は適度な運動と食生活といえます。

また、定期検査を受けることで大腸がんの早期発見につながることから、食事制限の負担なく手軽に受けられる検査である便潜血検査は大事です。がんの手術を受ける人の約1/3はこの検査で大腸がんを発見しており、40歳を過ぎたら年に1回必ず大腸がん検診を受けるようにしましょう。

「神奈川病院院内教育研究学会」開催される

療育指導室　主任児童指導員　小松　寛

12月5日に院内教育研究学会が、研修センターで開催されました。

この研究会は、毎年12月の上旬に行われ、今年で31回目となり、当院に勤務する職員が「院内の教育、研究の進捗を図り、医療の言及普及発展に貢献することを目的」として、その年の主題に沿って研究した内容を発表します。

今年は「神奈川病院を見つめ直す～職場間(部門間)コミュニケーションの発展～」というテーマで、院内の9部署より研究発表が提出され、各発表毎に質疑応答が行われました。

医療機関ではコミュニケーションエラーは医療事故発生の原因の一つにも挙げられている課題であり、休みの職員も研究学会に出席しました。

加勢田院長の開会挨拶の後の発表では、今行っている職種間のコミュニケーションの状況の検証に

次ページへ→

→前ページより
より、連絡の過程が複雑で時間がかかってしまうことや、連携の機会が少なく理解されたか疑問が残ったなどの課題がみつかり、その対策として、連絡担当者を決めたことで効率よくコミュニケーションの充実が図れたことや、しおりの配布と勉強会による啓蒙活動で理解を深める工夫を行ったなどの取り組みの発表が行われました。

普段何気なく行ってきた多職種間のコミュニケーションをあらためて見つめ直し、方法や意識を変えることで、今まで以上に職場間のコミュニケーションが深まっていくことに気づく機会となりました。

この研究学会では、研究発表された内容を病院幹部が審査し、優れた３題が表彰を受けるため、発表する職場内の志気も高まります。

閉会での前島副院長からの「コミュニケーションの発展は、チーム医療の活性化となり、それは病院の活性化に繋がる」との言葉で研究学会が終了しました。

今回のテーマである職場間コミュニケーションが発展することで当院の活性化が進み、今まで以上に地域の皆様から信頼される病院となるよう努めていきたいと思います。

自衛消防総合訓練

管理課庶務班長　大関　聡

去る11月9日（金）自衛消防総合訓練が行われました。今年の訓練の様子は昨年の東日本大震災の経験から職員一人ひとりの防災意識も高く、皆さんが真剣に訓練に参加されているようでした。

当日の訓練は５病棟リネン室から出火した想定で行われ、今年度は自動火災報知器を実際に発報し非常用火災通報装置を用いて消防署への通報を行いました。

訓練の模様ですが、まず、管理課においては14時過ぎに火災警報が鳴り、病棟から出火場所の連絡が入りました。まだサイレンが鳴り響いている事務所内に消防署から通報の返しの連絡が入り、係員は若干、緊迫した様子で消防署からの質問に応答しておりました。

外来管理棟の西側に設置された自衛消防隊本部では、病棟からの報告にきびきびと対応し、そして最後に消火班から報告された鎮火を確認後、終息宣言が出されました。

次は水消火器による消火器の操作実技訓練が始まりました。今年、採用になったばかりの職員やベテランの職員が入り乱れ、「火事だ！火事だ！」の掛け声とともに目標物に向かって放水をしました。職員それぞれが水消火器から真剣に水を放水する様子を見させてもらいこちらも身が引き締まる思いになりました。

訓練では職員の皆さんの役割が決められており行動も早かったですが、新たな課題もみえてきた訓練でありました。

常日頃から火災を起こさないための努力はもちろんのことですが、東日本大震災のような大災害が起きても患者様や職員の命を守っていけるよう災害に強い病院を目指し努力してまいりたいと思います。

感染性胃腸炎を予防しましょう！

感染管理認定看護師　　大渡　由美子

今年は、ノロウイルスが多く発症しています。毎年この時期に発生する感染症ですが、例年にくらべ、今年は特に発生件数が多いようです。

下痢や吐き気、嘔吐などの症状をまとめて「急性胃腸炎」と呼び、この時期の原因として代表的なものがノロウイルスです。ノロウイルスは感染すると、数時間から2日間の潜伏期のち症状が出現します。

ノロウイルスには抗生物質が効きません。また、下痢止めを飲んでしまうと体内にウイルスが留まってしまうため、症状がよくなりません。このため、治療は点滴や水分補給が行われます（腸を休めるために絶飲食となる場合もあります）。

今回はノロウイルスの感染対策についてお話します。

問：ノロウイルスはどうやってうつるの？

答え①ノロウイルスをもつ貝（カキなど）を食べる、もしくはノロウイルスがついたまな板や包丁などの調理器具を使い、料理した物を食べることでうつります。

答え②感染した人の吐いた物や便などにウイルスが混じっていて、それを処理する時に口から入りうつります。

問：感染しないための予防法は？

答え①ノロウイルスはアルコールが効きにくいウイルスです。アルコール手指消毒剤に頼らず、水と石鹸でよく手を洗いましょう。

答え②規則正しい生活（十分な栄養と睡眠）をこころがけ、病気に負けない体を作りましょう。

問：家族がノロウイルスにかかってしまったら？

答え①お家の中をきれいに掃除しましょう。特によくさわるところ（テーブルの上、ドアノブ、蛇口、リモコン、電話など）を、ハイターを薄めた液で拭くと効果的です。

答え②吐いた物や便の処理は、まわりから内側に集めて拭きましょう。拭きとったらハイターを薄めた液で消毒しましょう（詳しい方法はお問い合わせください）。処理が終わったら必ず手を洗いましょう。

答え③かかった人は、なるべく料理をするのは避けましょう。調理することで、ご家族にうつるおそれがあります。

問：食中毒になってしまったらどうしたらいいの？

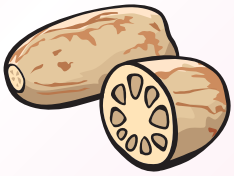
答え：水分補給が大切です

下痢や嘔吐をすると、体の中から水分が抜けて脱水症状になりやすいので、できるだけ水分を補給することが大切です（腸を安静にするため、水分を制限する場合もあります）。水よりも吸収がよく、塩分と糖分の入った補水液がよいでしょう。

栄養ひとくちメモ

れんこん ～体を内側からきれいに～

栄養管理室　木村　祐子



お正月の煮物や酢の物に使われるれんこんは、その穴から「見通しがきく」縁起が良いものとして、古くから慶事に欠かさず登場する野菜です。

れんこんは、野菜の中でもカリウムと食物繊維を比較的多く含んでいます。カリウムは高血圧予防、食物繊維は、整腸作用や便秘改善に効果的です。さらに、消化を助けるタンニンとムチンが存在し、胃腸の保護にも有効とされています。

れんこんは、炒め物・揚げ物・煮物に加え、酢の物など生のままでも使うことができ、調理方法も自由自在です！この時期甘みが増しておいしくなるれんこんを、今日のおかずに活用してみてはいかがでしょうか？

ミニレシピ　～れんこんと豚肉のみそ炒め～

＜材料＞(2人分)
れんこん……100g
薄切り豚肉…100g
赤ピーマン…1個
おろし生姜…少々
A
醤油……小さじ1
酒……小さじ1
B
水……小さじ1.5
酒……小さじ1.5
みそ……小さじ1.5
サラダ油……小さじ2
白いりごま…適宜
万能ねぎ……適宜

＜作り方＞
1.豚肉は一口大に切り、Aとあわせ、なじませておきます。
2.赤ピーマンは、幅5mmのせん切りにします。
3.れんこんは2mmのいちょう切りにして、1分ほど酢水につけてから、よく水を切ります。
4.フライパンにサラダ油をひいて中火で熱し、1の豚肉をさっと炒めます。
5.豚肉の色が変わったら、2の赤ピーマンと、3のれんこんを加えます。
6.れんこんに薄く色がついたら、Bの調味料を加え、弱火で2～3分炒めます。
7.皿に盛り付け、白いりごまと万能ねぎを散らして出来上がりです。

地域医療連携機関紹介

島田内科医院

院　長　名　島田　繁
診 療 科 目　内科　小児科
所　在　地　秦野市曽屋１１９１－３
電 話 番 号　０４６３－８１－２００５

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM9：00～12：00	○	○	休	○	○	○	休
PM3：00～ 6：00	○	○	休	○	○	休	休

休診日　水・日・祝祭日・土曜日午後

島田院長

島田内科医院は昭和56年7月に有床診療所として開業し、約10年間入院患者さんの治療もさせて頂いておりました。その後は無床診療所として現在に至り、今年で32年を迎えます。場所は、曽屋神社の山側に位置し、夏は弘法山の花火が良く見えるところです。

当院は、「病気の種類にこだわらず、先ずは患者さんの訴えを聞いてから」をモットーとして診療しております。その為、専門外の患者さんが来院することが多く、当然紹介患者さんが多くなります。日々の診療において心の支えとなるのはやはり、信頼できる紹介病院が近くに在る事が絶対条件となりますが、幸い近くに、地域医療に力を注ぎ、我々開業医の立場を理解され、病診連携室も充実し、近代施設を備えた神奈川病院が控えて居てくれており、さらに、スタッフの皆様の心温まる対応に支えられ、安心して診療させて頂いております。本当に感謝しております。

平成25年、新たな年を迎えますが診療方針は変えず「よろず相談診療所」として、又医師会員として、夜間休日診療・産業医・学校医・在宅診療などに少しでも参加協力して行きたいと思います。

各科診療担当医表

平成25年1月1日現在

科別＼曜日			月	火	水	木	金
一般外来	内科系	総合内科	後　町	前　島	前　島	前　島	佐久間
		腎臓内科		前　島	前　島	前　島	
		消化器内科	後　町	鈴木(俊)	後　町（紹介制）	川　嶌 佐久間 13:00～14:00	佐久間
		糖尿病内科			近　藤 9：00～		
		循環器内科	亀　崎 野　村	吉　田 9：00～ 岡　本	松崎(秀)	亀　崎 村　上 9：00～	野　村
		呼吸器内科	大久保 浅　野 9：30～	河　合	八　木 9：30～	布施川	大久保 新　美 9：30～
		神経内科		植　杉 14：00～			木　島 9：00～
	外科系	脳神経外科	木　村	齋　藤	堀　口 9：30～	市来嵜	
		外科 消化器外科	前　田 清　水 7日のみ	鈴木(俊)		前　田 （紹介制） 櫻　井 13:00～ （予約制）	森　田
		呼吸器外科			加勢田 根　本		加勢田 杉　浦
		整形外科	数枝木 9：00～ 山　本	山　本 （装具外来） 野　尻 9：00～		水　野 9：30～	数枝木 9：00～
		泌尿器科		浅　沼 10:45～			田野口
		皮膚科			足　立 9：15～		川　崎 9：30～

科別＼曜日			月	火	水	木	金
一般外来	小児科系	小児科 小児アレルギー科	萬木(晋) 渡　辺 14：00～ （予約制） 石井(徹) 9：00～	萬木(暁) 9：00～ 萬木(晋) 13：30～ （予約制）	渡　辺 9:00～午後 （予約制） 萬木(暁) 14:00～ （予約制） 佐　藤	渡　辺 9：00～ 午後 予防接種 健診	萬木(晋) 石井(徹) 9：00～
		小児外科	平　林 第2・4 13：00～				
		成育心身医療科 （予約制）		松崎(淳) 1/8 午前のみ		松崎(淳) 1/10、1/24 午前のみ 1/17 1日	
特殊外来		心療内科 精神科 （予約制）		松崎(淳) 1/8 午前のみ		松崎(淳) 1/10、1/24 午前のみ 1/17 1日	
		結核・ 抗酸菌外来		米　丸 第2のみ 10：00～			
		乳腺外来	森　岡 14：00～		鈴木(育) 14：00～		
		てんかん外来					杉　山 第4のみ 10:00～11:00 （予約制）
		救命救急科			交代制		

※担当医表に時間の記載がある日は、記載されている時間内の診療となりますのでご確認をお願いいたします。
※心療内科・松崎(淳)先生は、月毎に勤務日が変更となります。記載されている日にち限りの診療となりますのでご確認をお願いいたします。また、初診・予約外の方は事前にご連絡ください。

ボランティア募集

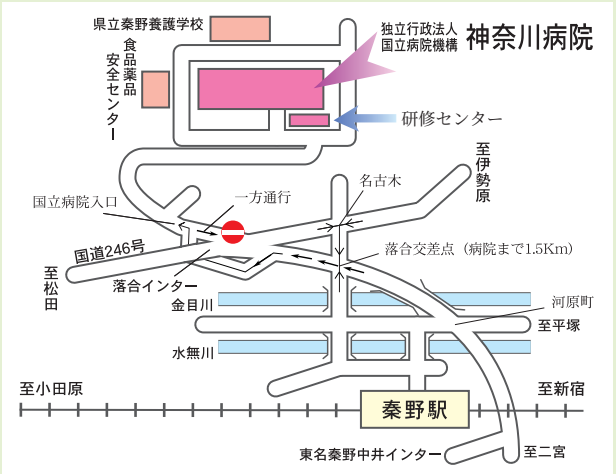
国立病院機構神奈川病院では、外来患者さんや入院患者さんの方々が気持ち良く診療が受けられるように、また安心して入院生活が送られるように、暖かい気持ちで、活動していただける方々の参加をお持ちしております。

［活動内容］　外来の案内　病院内の案内
入院患者さんのお話し相手
楽器の演奏・歌・踊り　お芝居など

【ボランティア受付】大関 庶務班長（内線 2110）
谷嶋 看護師長（内線 8207）

お気軽にお問い合わせ下さい！

案　内　図



小田急線「秦野駅」下車神奈川中バス④番乗場「国立神奈川病院」行
終点（所要時間約13分）

※車利用
東名高速道路「秦野中井」より約10分
◎矢印の方向へお進み下さい。⛔ は進入出来ません。

編集担当者

統括責任者：加勢田　靜
発行責任者：加勢田　靜
編集責任者：中澤　幹夫　花井　より子
編　　集：前島　潔　高橋　渡　高久　大輔
大塚　絢也　谷嶋　寿々子　小町　利治
山岸　豊　市川　喜代子　筒井　秀知
木村　祐子　金澤　明子　井田　茂樹